

結婚する準備できました

第2期 OB 梶山 啓介

小野先生をはじめ小野ゼミ、OB・OGの皆様、こんにちは。第2期の梶山です。この度はOB・OG会誌第3巻発刊おめでとうございます。また第3刊発行にあたり個性豊か・OB・OGを取りまとめて頂いた現役ゼミ生の皆様ありがとうございました。

OB・OG会誌の第1巻、第2巻では、主に自分自身の仕事に関してのご報告をさせて頂きました。今読み返してみると、その当時自分が考えていたことが書かれており、その当時のことが鮮明に蘇ってきます。

改めて、簡単に自己紹介をさせて頂きますと、私は2期生として小野ゼミを卒業した後にシティバンク銀行に入行し、約2年間おもに個人顧客向けのお客様に対しての資産運用の営業を行っていました。その後、シティバンクの同期とともにさまざまな法人の営業支援を行う株式会社エッジコネクションを立ち上げました。そして2009年12月には節目となる3期目が終了し、現在は新しいオフィスにて会社の次のステージに向けて日々頑張っております。

さて今年も引き続き仕事に関して書こうかなと思っていましたが、今回は仕事ともに非常に大事なイベントの出来事、「結婚」というテーマに関してご報告させていただきたいと思います。

周りの人間からは絶対に結婚が遅い遅いと言われ、自分自身も遅いと思っていましたが、去年春、意外とあっさり結婚を決意いたしました。彼女とは前職のシティバンク時代に出会い、部署は違ったのですが(ちなみに当時は第2期の向井さんと職場が一緒だった)、私がシティバンクを辞めてからも一緒に飲みに行ったりしている仲でした。そして、付き合い始めてから1年半ぐらいたった昨年春、プロポーズをし、無事ご両親にもお会いし、結婚することになりました。今年2月上旬に入籍をし、来月披露宴を行います。

「結婚することになった」と友達に報告すると「結婚する決め手ってなんだったの?」と聞かれることがあります。そんな時、私は「一緒にいて楽だから」と答えています。

よく考えると、私自身も結婚を決めた友達に対して同じような質問をしていました。「何が決め手だったの?」、「何で結婚することにしたの?」などなど。私に質問した友達が全員同じとは思わないですが、正直私自身は結婚することの良さを理解出来なかったため、理由を知りたくて質問をしていたと思います。その証拠として、彼女と付き合い始めて1年ぐらいたったある夜に大ゲンカをしました。大ゲンカというよりは私から勝手にこれからの2人の付き合い方に対して「宣言」をして、それに対して意味がわからないと彼女に怒られたというものでした。どういう内容の「宣言」だったかということ、それは「これから俺は自分が気を遣わず過ごす!!」という、今考えてみてもかなり問題があるカップルの発言というような内容でした。

なぜこんな発言をしたかということ、当時の私は、「自分の時間」、「仕事の時間」、「彼女との時間」という3種類の時間が存在しており、「彼女との時間」が増えれば「自分の時間」が減るというように、「or」の考え方をしていました。しかし、これから結婚して一緒に住み始めていくことを考えると、「or」という考え

方では物理的に無理が生じてきます。そこで「or」から「and」に切り替えていく必要があると考え、「彼女との時間」の中にも「自分の時間」を持つという意味で気を遣わずに過ごしていくよと彼女に宣言しました。しかしながら、特に何も時間を分けて接していなかった彼女に対してはあまりにも宇宙人的な発言だったため、「それって別れたってこと？」ということになり、その誤解を解くため朝までかけての「大討論」となりました。

そんな「宣言」から「大討論」を経てちょっと不安定な時期がありましたがなんとか2人の関係は深まり、何よりも私自身がこれだけ物事を言い合えて、一緒にいて楽な人はほかに出会えるのだろうかという気持ちになりました。そして、そんな気持ちを彼女に伝えることで一緒に結婚するということになり、今では、気を遣うどころか仕事でもプライベートでも色々と相談できるパートナーとして一緒に過ごしています。

前回、前々会のご報告とは完全に方向性が異なり、むしろ私生活の暴露話みたいな内容になってしまいましたが、これもひとつの近況報告として皆様にお伝えさせていただければと思います。



妻と一緒に